



キトラ古墳

スペシャル オプションコース



● キトラ古墳

キトラ古墳は、今からおよそ1300年前、高松塚古墳より以前に築かれた古墳です。上段が直径9.4m高さ2.4m、テラス状の下段が直径13.8m高さ90cmの二段築成の円墳で、国の特別史跡です。埋葬者は不明ですが、出土した副葬品や、墳丘規模では高松塚古墳より劣るものの、皇族や身分の高い官人・貴族が埋葬されていると推測されます。国内2つ目の装飾壁画古墳として発掘が進められ、高松塚古墳では失われていた四神の「朱雀」が残っていた事で脚光をあびました。



● キトラ古墳壁画体験館 四神の館

国特別史跡「キトラ古墳」や、国宝「キトラ古墳壁画」のことが学んでいただける体験型施設です。原寸大の石室模型や四神壁画を約100倍の拡大映像でお楽しみいただける高精度映像、発見当時の興奮や壁画の剥ぎ取りに使われた特殊技術や道具の展示をお楽しみください。土日祝日には、勾玉づくりや、高松塚古墳から出土した「海獣葡萄鏡」、日本最古の貨幣「富本銭」のレプリカを铸造できる体験も行っています。



キトラ古墳壁画体験館 四神の館
TEL:0744-54-5105

● 檜隈寺跡

檜隈寺は、渡来系氏族の東漢氏(やまとのあやうじ)の氏寺だと言われています。現在は、東漢一族の祖・阿知使主(あちのおみ)を祭る於美阿志神社の境内になっています。檜隈寺は極めて特徴的な伽藍の配置となっており、地形上の制約という説が主な所ですが、渡来人である東漢氏が日本古来のものである神社を意識したという説もあります。境内には、一部が欠け、現在十一層になっていますが、平安時代後期に建てられた、国の重要文化財にも指定されている「十三重の石塔」も残されています。

